

豊橋市などが出資する第3セクター「サイエンス・クリエイティブ」(同市西幸町)は8日、独創性のある優れた事業を表彰する「東三河ビジネスプランコンテスト」の入賞作を発表した。最優秀賞には清掃器具製造会社「日之出」(同市錦町)の松本百合子社長(57)が応募した「エコモップ・エコマット」のレンタル事業を選んだ。(安田功)

## ビジネスプランコンテスト

# 最優秀賞に日之出(豊橋)事業

日之出は約五年前から環境に優しい製品へのニーズの高まりを受け、企業から出された汚れた制服と手袋を使いモップを、ペットボトルを原料にマットを開発・製造。出来上がったモップなどを飲食チェーン店やメーカーにレンタルする事業を二〇〇五年から展開している。現在、全国の約三十社と取引がある。

不用になった繊維を利用した製品は同社の売り上げの一角に満たないが、松本社長は「環境ビジネスは利益が出ない」と言われる中、評価してもらえ、うれしい。これからも環境を通じて社会貢献に取り組んでいきたい」と語っている。

## 不用な繊維→モップ ペットボトル→マット

# メーカーなどにレンタル

今後は帽子など他の繊維製品からのモップ製造を模索していく。

コンテストはサイエンス・クリエイティブなどをつくる実行委員会の主催で六回



松本百合子社長

目。県内などの個人や団体から七十一件の応募があり、入賞七件が選ばれた。豊橋サイエンスコア(豊橋市西幸町)で二十一日に表彰式が行われる。ほかに入賞した個人、団

体は次の皆さん。

【優秀賞】マーケット開拓部門 都アサイン社長・清水貴裕(インターネット上で)

【特別賞】豊橋商業高国際科、経理科(健康弁当)の企画・販売



日之出がレンタル事業を行っているモップとマット

だわりバン販売)▽技術開発部門 ハマネット社長・初沢明博(オゾン水装置)▽アイデア部門 フレスコリーフ代表・木村智一(特殊コンクリートを使ったデザイン性に優れた表札)▽学生部門 静岡理工科大・野末智彦(デジタル画像を表示する写真立て)